

本件は都庁記者クラブでも同時に発表しています。

令和 7 年 1 2 月 9 日
東 京 都
昭 島 市

東京都福生市内に落下したパラシュートについて（要請）

令和 7 年 12 月 8 日、防衛省北関東防衛局から「12 月 1 日、熊川児童館屋上で熊川児童館職員により米軍のものと思われるものが発見された」、「米軍に確認したところ、これは米軍のものであり、11 月 20 日に米軍兵士が空挺降下訓練中に主降下傘を切り離した後、予備降下傘を使用して横田基地に着地した。切り離した主降下傘は風によりコースを外れ、横田基地外に落下した。当該降下傘については、米軍が同日夜に福生市内熊川児童館敷地内で回収した。また、熊川児童館屋上で発見されたものは、この着地に関連する誘導傘（パイロットシュート）であった」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供されました。

降下訓練における落下物等は、一歩間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、特に今回は、子どもたちが集う児童館の敷地に落下しており、基地周辺住民に多大な不安を与えるものです。

また、当協議会は、これまでに発生した基地外への落下事故と同様の事故を防止すること等を要請してきたにもかかわらず、こうした事態が発生したことや、令和 7 年 11 月 18 日に発生した場外降着を受け、再発防止策を講ずるまで、同様の訓練は行わないことを要請している中、訓練が再開され落下事故が発生したこと、事案の発生について自治体からの照会があるまで情報提供がなされなかったことは、極めて遺憾です。

については、今回のパラシュート落下の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと等を要請しましたので、お知らせします。

記

- 1 要 請 日 令和 7 年 12 月 9 日（火）
- 2 要 請 先 在日米軍横田基地第 374 空輸航空団司令官
リチャード F. マックエルハニー大佐
北関東防衛局長 池田 真人
横田防衛事務所長 佐々木 輝男
- 3 要 請 者 横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会
（会長：東京都知事、副会長：昭島市長）
- 4 要請内容 別紙 1、2 のとおり
- 5 要請方法 郵送及び持参

問合せ先
東京都 都市整備局 基地対策部
基地対策担当 山崎 03-5000-6127（直通）
内線 21-140

昭島市 企画部 企画政策課
村山・大原 042-544-5111 内線 2371

東京都福生市内に落下したパラシュートについて（要請）

令和 7 年 12 月 8 日、防衛省北関東防衛局から「12 月 1 日、熊川児童館屋上で熊川児童館職員により米軍のものと思われるものが発見された」、「米軍に確認したところ、これは米軍のものであり、11 月 20 日に 米軍兵士が空挺降下訓練中に主降下傘を切り離した後、予備降下傘を使用して横田基地に着地した。切り離した主降下傘は風によりコースを外れ、横田基地外に落下した。当該降下傘については、米軍が同日夜に福生市内熊川児童館敷地内で回収した。また、熊川児童館屋上で発見されたものは、この着地に関連する誘導傘（パイロットシュート）であった」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

降下訓練における落下物等は、一步間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、特に今回は、子どもたちが集う児童館の敷地に落下しており、基地周辺住民に多大な不安を与えるものである。

また、当協議会は、これまでに発生した基地外への落下事故と同様の事故を防止すること等を要請してきたにもかかわらず、こうした事態が発生したことや、令和 7 年 11 月 18 日に発生した場外降着を受け、再発防止策を講ずるまで、同様の訓練は行わないことを要請している中、訓練が再開され落下事故が発生したこと、事案の発生について自治体からの照会があるまで情報提供がなされなかったことは、極めて遺憾である。

貴職においては、このような状況を十分認識され、原因究明を行い、再発防止と安全確保に努めるよう、下記のとおり要請する。

記

- 1 今回のパラシュート落下の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと。
- 2 訓練を再開する場合は、事前の情報提供及び安全確保について、更なる徹底を図ること。
- 3 横田基地所属以外の部隊による同様の訓練は行わないこと。
- 4 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和 7 年 12 月 9 日

在日米軍横田基地第 374 空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニー大佐 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東 京 都 知 事	小 池	百 合 子
副 会 長	昭 島 市 長	臼 井	伸 介
	立 川 市 長	酒 井	大 史
	福 生 市 長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	羽 村 市 長	橋 本	弘 山
	瑞 穂 町 長	山 崎	栄

東京都福生市内に落下したパラシュートについて（要請）

令和 7 年 12 月 8 日、防衛省北関東防衛局から「12 月 1 日、熊川児童館屋上で熊川児童館職員により米軍のものと思われるものが発見された」、「米軍に確認したところ、これは米軍のものであり、11 月 20 日に 米軍兵士が空挺降下訓練中に主降下傘を切り離した後、予備降下傘を使用して横田基地に着地した。切り離した主降下傘は風によりコースを外れ、横田基地外に落下した。当該降下傘については、米軍が同日夜に福生市内熊川児童館敷地内で回収した。また、熊川児童館屋上で発見されたものは、この着地に関連する誘導傘（パイロットシュート）であった」との情報が、東京都及び基地周辺自治体に提供された。

降下訓練における落下物等は、一步間違えれば人命に関わる重大な事故につながりかねず、特に今回は、子どもたちが集う児童館の敷地に落下しており、基地周辺住民に多大な不安を与えるものである。

また、当協議会は、これまでに発生した基地外への落下事故と同様の事故を防止すること等を要請してきたにもかかわらず、こうした事態が発生したことや、令和 7 年 11 月 18 日に発生した場外降着を受け、再発防止策を講ずるまで、同様の訓練は行わないことを要請している中、訓練が再開され落下事故が発生したこと、事案の発生について自治体からの照会があるまで情報提供がなされなかったことは、極めて遺憾である。

貴職においてはこのような状況を十分認識され、下記のとおり米軍に申し入れを行うよう要請する。

記

- 1 今回のパラシュート落下の原因究明と、他の落下物の有無の確認を速やかに行うとともに、再発防止策を講ずるまでは、同様の訓練は行わないこと。
- 2 訓練を再開する場合は、事前の情報提供及び安全確保について、更なる徹底を図ること。
- 3 横田基地所属以外の部隊による同様の訓練は行わないこと。
- 4 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和 7 年 12 月 9 日

北関東防衛局長 池田 真人 殿
横田防衛事務所長 佐々木 輝男 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東 京 都 知 事	小 池	百 合 子
副 会 長	昭 島 市 長	臼 井	伸 介
	立 川 市 長	酒 井	大 史
	福 生 市 長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	羽 村 市 長	橋 本	弘 山
	瑞 穂 町 長	山 崎	栄